

いくよこタイムズ

ふくちゃんの

病院よもやま話

第1回



第1回の今回は「育生会」の名前の由来についてお話しします。

「育生会」という文字をパソコン等で入力すると、たいてい「育成会」と出て来てしまいます(今もそれで苦戦しています)。「育成」という言葉は良く聞きますが、「育生」という言葉は辞書にはあるものの、あまり使いませんよね。では、なぜこのあまり使われない「育生」を名前にしたのでしょうか。それは育生会の成り立ちに関係があります。

当院は、戦後間もない頃、初代理事長の碓井貞義先生により創立されました。戦争により荒廃した中、将来の日本のためにも安心してお産ができる環境を、との事で、「赤ちゃんが生まれ育まれるように」と育生の名前を冠したと伺っております。今は諸事情により産科の診療はしていませんが、最初は産科の病院だったのですね！

そんな育生会も創立してはや70年が経ちました。以前は横浜駅西口の岡野町にありました。長く地元の方々に愛される病院でしたが、建物の老朽化や地域の発展による人口の減少などがあり、50周年を機に今の地に移転して来ました。その時に、新たに「介護老人保健施設ユトリアム」と「介護老人福祉施設よつば苑」を併設して複合型の施設となり、皆様にお世話になる事となりました。

これからもどうぞよろしく願い致します。因みに創設者の碓井貞義先生の銅像は病院玄関にあります。



明けましておめでとうございます。昨年は横浜病院・ユトリアム共に、地域での役割をより明確に、在宅復帰支援施設であることを強く意識してリスタートした年でありました。

結果、忙しい中にも職員個々に使命感と誇りがかかっていないほどに高揚しているのを感じ、それは私自身には何物にも代えがたい喜びとなりました。

本年もこの路線をさらに成熟させて、地域の皆様に、地域の財産と感じて頂けるような施設を目指して参ります。具体的には、強化型在宅支援病院・在宅復帰在宅療養支援型老健として、地域の急性期病院、在宅診療所、訪問看護ステーション等との連携を通じて、患者様のみならず、連携各施設様にとりましてもメリットを提供し続けていきたいと考えております。また、地域での講演会などのイベントにも、引き続き積極的に取り組んで参りたいと考えております。

本年も育生会複合施設をよろしくお願い致します。

理事長 碓井 貞彦



明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

育生会は、おかげさまで昨年、創立70周年を迎えることが出来ました。これもひとえに地域の皆様からの支えがあってこそと、深く感謝しております。

この記念すべき時期に合わせたかのように、昨年は地域包括ケア病棟を開設することもできました。地域包括ケアシステムとは、超高齢化社会を迎えようとする我が国において、住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで継続できるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供するためのシステムです。入退院も格段に増え、院内も大いに勢いづいています。このパワーで、引き続き地域のためにお役に立てるよう職員一同研鑽を進めてまいります。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

院長 長堀 優

あけましておめでとうございます



一般財団法人育生会横浜病院

診療科目 内科・消化器内科・循環器内科・外科・消化器外科
リハビリテーション科・婦人科・皮膚科・歯科口腔外科

休診日：日曜・祝日

〒240-0025 横浜市保土ヶ谷区狩場町200-7 TEL:045-712-9921

<http://www.ikuseikai-yokohama.com> 育生会 横浜病院 検索

併設
介護老人保健施設 ユトリアム
介護老人福祉施設 よつば苑



【電車・バスをご利用の方】

- 保土ヶ谷駅 (JR横須賀線) 東口よりバス(約10分) 【権太坂上】下車、徒歩3分
- 東戸塚駅 (JR横須賀線) 東口よりバス(約15分) 【権太坂上】下車、徒歩2分
- 戸塚駅 (JR横須賀線) 東口よりバス(約30分) 【権太坂上】下車、徒歩2分
- 横浜駅 (各鉄道) 西口よりバス(約40分) 【権太坂上】下車、徒歩3分
- 井土ヶ谷駅 (京浜急行線) よりバス(約15分) 【児童遊園地前】下車、徒歩10分 (国道1号線を保土ヶ谷方面へ)

【お車でお越しの方】

- 保土ヶ谷バイパス方面より 狩場インターを出て国道1号線を右折、戸塚方面へ500m先、左。
- 首都高速3号線方面より永田ランプを出て保土ヶ谷橋交差点を左折、国道1号線を戸塚方面へ2キロ先、左。

編集後記

育生会は昨年、おかげさまで創立70周年を迎える事が出来ました。今年もまた新たな年を迎え、地域の皆様の病院としてこれからも、益々頑張ってお参りたいと思います。そして横浜病院広報誌「いくよこタイムズ」も最初の発行より1年を迎え、今号より2年目の新年号となりました。これからも横浜病院に関するタイムリーな情報をたくさん皆様にお届けし、皆様のお役に立てるような広報紙を目指して頑張ってお参ります。ご意見・ご感想等、ぜひお聞かせ下さい。

広報委員会・委員一同

発行責任者 院長 長堀 優

平成28年 12月7日 創立70周年 記念式典 を開催しました

社会福祉法人と合同で「インターコンチネンタルホテル横浜」にて、職員の忘年会を兼ね、12/7に開催しました。永年勤続表彰式や豪華賞品が当たるくじ引きなどを行い、大変盛り上がりました。また、70周年記念品として、全職員に記念ボールペンを配りました。



永年勤続表彰式

ご自由にお持ち下さい TAKE FREE

訪問看護について ～病院からの第一歩～

疾病、障害などをもち、ひとりで不安を抱えていませんか。またご本人様だけでなく、支えているご家族様も頑張り過ぎて疲れていませんか。

当院の訪問看護スタッフは、皆様が慣れ親しんだ環境で安全に安心して生活出来るためのお手伝いをさせていただきます。

主治医の訪問看護指示書に従い、地域医療機関や関連施設と連携を行いながら、生活環境に沿った看護を提供いたします。

ご自宅にいるからこそ可能となる、ご自分らしい生活を共に叶えることを目指しています。「わたしは、ひとりで悩まなくても良い。」



訪問看護の内容

- 療養上のお世話
- 医師の指示による医療処置
(点滴/胃瘻/尿留置カテーテル/創処置/インシュリン注射/ポート管理等)
- 病状の観察
- 医療機器の管理
(酸素療法/輸液ポンプ)
- 床ずれ予防/処置
- 認知症看護
- 在宅でのリハビリテーション看護
- 精神、心理的な看護
- ターミナルケア
- 介護予防
- ご家族への介護支援/相談

そんな気持ちになれるよう訪問看護スタッフが全力でサポートさせていただきます。

訪問時間

平日午前9:00～17:00
(病状又は医師の指示に基づいて訪問時間と回数は決まります。)

対応地域

保土ヶ谷区・戸塚区
旭区・南区・港南区

夜間及び緊急対応が必要な場合

土・日・祝日や夜間など、営業時間外の対応が必要な場合は、予め医師の指示に基づいた上で、24時間体制の訪問看護ステーションと連携をしてサービスを提供致します。

お問い合わせ 045-712-9921(代) 訪問看護(内線453)

院内感染防止対策研修

11月11日(金)17:30～

テーマ: 手洗いを考える
(医療感染対策)

講師: 大正富山医薬品株式会社 松本 哲典 様



インフルエンザ・ノロウイルス・マイコプラズマ肺炎について詳しく講義して頂き、その予防について学びました。手の洗い方に注意し、洗い残しのないようにする事が大切です。

医療機器安全管理研修

12月12日(月)17:30～

テーマ: 医療機器安全管理の基本～事故を未然に防ぐ為に

講師: 日本光電工業株式会社 安部 昌宏 様



病院・ユトリアム・よつば苑の三施設合同で講義を受けました。記憶に残る事故報道は大きな社会問題となり、安心と安全確保が問われています。今回は、医療機器に関する事故の実態を説明して頂き、ヒューマンエラーにクローズアップして、①人間の特性②社会心理学的特性③認知的特性を理解し、エラー対策の発想手順を具体的に学びました。

消防訓練

11月30日(水) 14:00～15:00

消防署の方よりAEDの講習を受けました。心臓マッサージを1人30回ずつ体験しましたが、意外と体力が必要と感じました。また、緊急時を想定してグループになり、119番に連絡をする人、AEDを持って来る人、心臓マッサージをする人に分かれ、緊急時に迅速に動けるよう体験をしました。いざという時に生かせるようにしっかり教えて頂きました。



保育室クリスマス会

12月21日(水)
14:30～

「あわてんぼうのサンタクロース」を歌いました!



連載2

癌の治療で学ぶこと



前回までのお話

外科医として55年加療を行ってきたが、中には「忘れえぬ患者」もいる。小児期のがんにより35年以上経過観察している53歳の女性の方もその中の一人だ。9歳の時に黄疸と腹痛で受診され、総胆管拡張症と診断され、手術を行った。先天性のものだった。術後、元気に退院し、問題なく生活されていたが…

18才の時、またしても黄疸と腹痛で再診され入院、諸検査で膵頭部の腫瘍を認め手術を行いました。術中、癌と診断、膵・胆のう十二指腸、胃の切除を行う膵頭十二指腸切除を行いました。本人も頑張り、笑顔で元気に退院しました。経過良好でした。(学会報告では、18才で膵癌ならず再発してしまうであろうし、大手術を行うのは、やりすぎと反対する医師もありました。)

28才の時、結婚したいと相談されました。本人に今は再発はないが夫となる方に経過について話をしたいと申し出、相手の方と面談しました。癌の術後加療中との症状を話をしましたが、症状を理解の上で結婚したいとの事で、私も式にも出席しました。

30歳になった時、子供を作りたいとの相談され、「よいですよ」と話したところ、すぐに妊娠されました。産婦人科医にも協力いただいて無事出産。問題なく成長され現在社会人になりました。患者さん本人は膵臓切除後の影響もあり2型糖尿病となり、東京に在住の方ですが横浜まで通院、外来加療中であります。この患者さんの経験より学んでいることが多いと感じています。



名譽院長 塩谷 陽介

賀詞交歓会 1/4

1月4日(水)17:30～大会議室にて賀詞交歓会が行われました。



獅子舞 1/10

獅子舞が育生会に来てくれました!



無病息災 患者様が良くなりますように